



第3回 ALSO プロバイダーコース

ー東北大学病院ー

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を身につけ、伸ばすための教育コースです。ALSOは1991年にACLSとATLSを参考にしてアメリカで考案され、現在、全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講することが義務づけられています。さらにALSOコースは2009年現在までに50カ国以上に普及しており、日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されました。

コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップです。プロバイダーコースは二日間にわたって行われます。妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、早産と前期破水、妊婦の蘇生法、そして出産危機における両親への対処の8つのレクチャーがあります。少人数グループによるワークショップは、肩甲難産、経膈補助分娩(吸引分娩)、鉗子分娩、産後大出血、会陰縫合、分娩中の胎児監視、症例検討の7つです。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースの終わりにあります。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができます。

受講対象者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、そして医学部生などであり、現在あるいは近い将来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加しています。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実です。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOであり、今後日本で普及していくことを願ってやみません。

ALSO-Japan

セミナー：ALSO プロバイダーコース

主催：東北大学「周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト」

共催：NPO 法人周産期医療支援機構 (OPPIC)

開催場所：東北大学病院臨床講義棟

日時：平成23年8月20日(土)、21日(日)